

景観計画リレーフォーラム（第1回北部編）開催状況

日時：平成27年7月11日（土） 13:30～16:00

場所：川西市郷土館（旧平安家住宅）

参加者：30名

1. 講演

「歴史的建造物を活かした景観まちづくり」「古民家再生：愛着のある風景を守る物語」
森畠吉幸建築研究所 所長 森畠 吉幸 氏（川西市都市景観形成審議会 委員）

- ・川西市は新興住宅地の規格化された住宅ばかりだと考えていたが、ヘリテージ活動を通じて、昔からの集落や大正時代に開発された住宅地に歴史・文化景観として優れた建造物が有ることがわかった。
- ・本市の代表的な歴史的建造物や、市内各所をまち歩きした時の写真を紹介しながら、良好な景観形成に配慮されている点や、どのようにすればより良好な景観形成に繋がるかを解説。
- ・今回紹介したような景観を市民共有の財産として守り育てるところが、歴史的建造物を活かした景観まちづくりである。
- ・歴史的景観の保全の一例として、古民家再生プロジェクトを紹介。
- ・古い建物だから壊すのではなく、上手に手を加えることで、歴史的景観を守ることができる。



講演の様子

2. 情報提供

「川西市景観計画について」
川西市都市計画課

- ・川西市景観計画の2つの特長について説明。
「生活シーン」から見た景観
生活者の視点つまり「生活シーン」の視点から、景観形成に関わる様々な主体が一体的に、良好な景観の保全や形成に取り組んでいくことで“居心地の良さ”と“愛着や誇り”を実感
参画と協働による景観形成
市・市民・事業者の役割を明確にし、それぞれがお互いの役割を認識し、連携しながら、協働して景観形成を推進



情報提供の様子

来場者アンケートの状況（回答21件）

- ・これからも古民家等に気をつけて街中を見たいと思う。
- ・今まで建物を気にせずに自転車を乗っていたので、新たな楽しみが増えた。
- ・取組みに対する熱意を感じた。